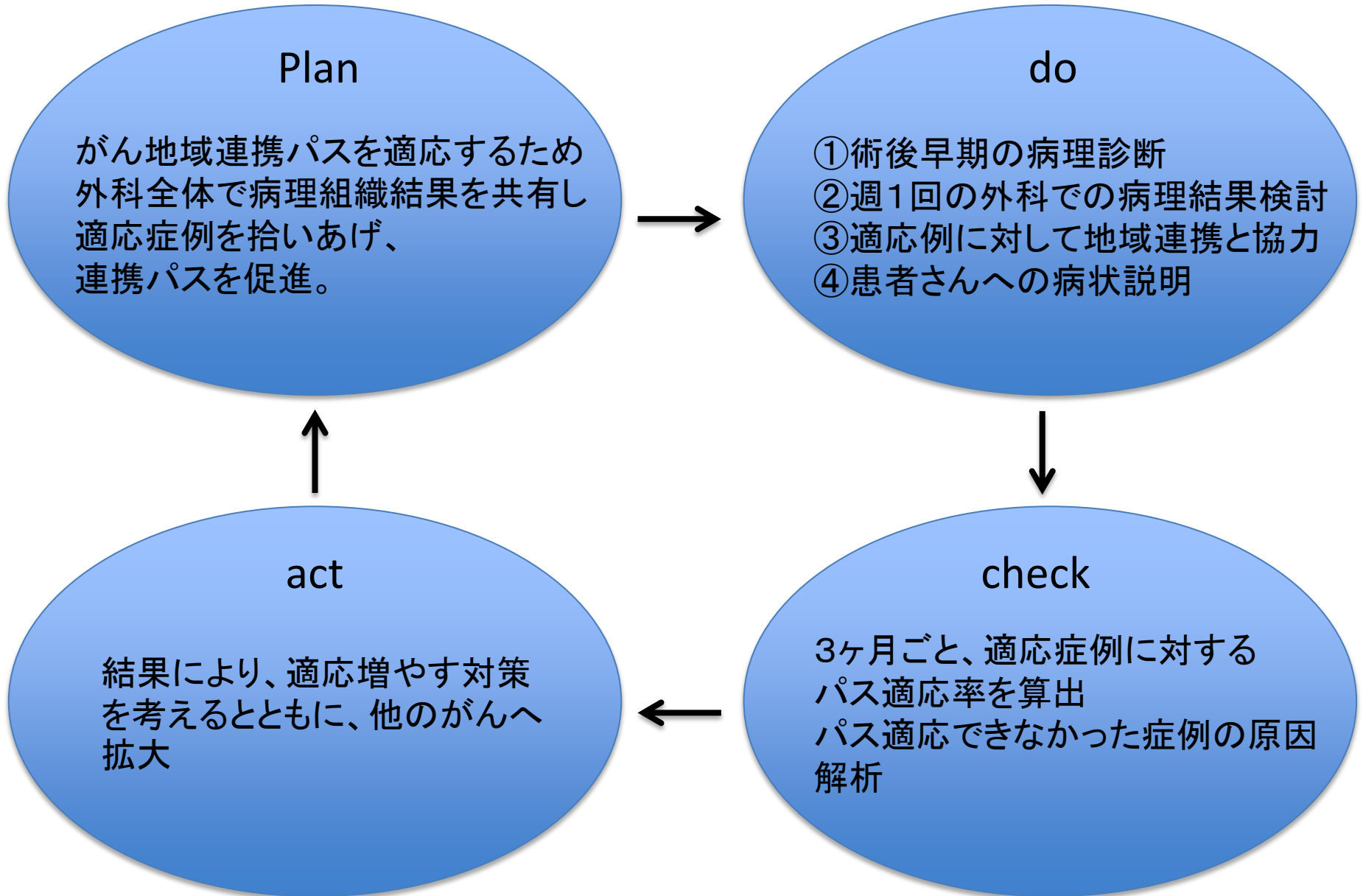


5大がん地域連携パス使用率向上のためのPDCAサイクル



5大がん地域連携パス使用についての現状

5大がん(胃がん、大腸がん、肝癌、肺がん、乳がん)も対する地域連携パスが勧められているが、なかなか利用率が上がっていない。

肝がん、肺がん、乳がんはやや専門的であり連携が難しい側面もある。胃癌、大腸がんでも補助化学療法が必要な症例では、連携が難しい場合がある。

しかしながら補助化学療法の不要な胃、大腸がんに対して連携パスが使用されているのは少数例で、主治医に任せて適応しているのが現状